

【Gavren the Hunter】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号

“ 狩人 ”

■ 概略

ガヴレニング種アリンクスの祖神。野外で一人で生活するのに優れた神。

群れるよりも一人でいることを好み、普段は風の森で過ごしている。しかしインキンには忠実で、呼びかけに必ず応じるほどだった。またインキンが息子と呼ぶことすらできないほど弱ったときも父のもとを訪れて、彼の傷が治るまで面倒を見た。

ウズから大地を守ることで大地の女神らの愛を得た。カーグとも戦いその爪にかけたが、子供たちのいくたりかを殺されたため、ガヴレンはカーグを激しく憎悪している。

組織

■ 相、カルト

インキンの下位カルト。

業績

・(その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう)

近親

■ 両親

父親はインキン。

母親は“野の姫”ヴェルハラ。

■ 兄弟姉妹

同父兄弟に、“追い駆け屋”ヘヴレン、“密偵”アルサー、“鼠獲り”ムルニがいる。

同母兄弟に、“狩人”オーマライヤとオデイラがいる。

別名

“待ち伏せ屋”ガヴレン

参考文献

- 『Strom Tribe』 p.188
- 『Anaxial's Roster』 p.37